

くしまの子育て広場「さくらサロン」だより

さくららっくうじん

第242号

7月号



バックナンバーがHPでも見られます!
https://www.minami-sakura.com/minami_sakura/

編集：さくら通信編集部
 発行：串間市地域子育て支援センター（さくらサロン）
 責任者：南さくら幼保連携型認定こども園 副園長 崎村 尚子
 E-mail: saron@love.made.ne.jp
 TEL: 0987-72-5623
 ※所在地は下記さくらサロンと同様

さくらサロンの行事紹介パート2

子育て支援センターへさくらサロンでは、色々な活動をしています。活動内容は、毎月の「さくら通信」でお知らせしています。市内の公園や保育園に出かけたり、アクティブセンターや福祉センター、図書館で出前保育をしたり、講師の先生方にも来ていただき、楽しい活動も計画していますよ。さくらサロンでは、どんなことをしているのか、行事紹介したいと思います。

子育てルンリン



毎月第3木曜日に「串間市福祉保健センター2階」の「すこやか広場」に出かけて、パネルシアター、絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びなどをして一緒に遊びます。身長や体重測定も行っています。

親子体操



講師の梅へん先生に来ていただき、ボールを使った体操やストレッチの仕方を無料で教えていただいています。産後の体を元に戻す方法や健康面の質問にも答えてくださいます。お子さんは、職員がお母さんの方の近くで見えていますので、安心して体操に参加することができます。

アクティブセンターに沢山のおもちゃや乗り物を持って行きます。親子で好きなおもちゃを選んで自由に遊ぶことができます。サロンに置いていない、珍しいおもちゃもたくさん持って行きますので、楽しみにしてくださいね。

最近のサロンについて

開館して、賑やかな声が戻ってきました。利用者さんの元気な顔を見ることができ職員も嬉しいです。また、遊びに来てください。お待ちしております。



一時預かりを再開しました!!

保護者や子供の病院、買い物、美容室、リフレッシュなど、子供さんを見てくれる人が誰もいない時、お子様をお預かりします。

ご利用について

- 年齢：生後4か月～就学前まで
- 時間：①水曜日の9:00～12:00(3時間)
②園庭開放の日(月～金)の9:00～12:00(3時間)
- 定員：1回につき1組とします。
- 料金：無料
- ※年に1人5回まで利用可
- ※詳しくは職員にお尋ねください。登録申請書をお渡しします。

★次回はサロン紹介パート3をします。お楽しみに!!

さくらサロン 7月の行事予定

コロナウイルス感染拡大防止対策のため、行事は入れていませんが、サロン室内・園庭の開放は再開しております。入り口での消毒、検温、自宅からのマスク着用のご協力をお願いいたします。行事の変更などがありましたら、南さくら認定こども園のHP・串間市のHPでお知らせします。

月	火	水	木	金	土
29	30	1 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	2 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	3 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	4 園庭開放 さくらサロン 8:30～13:20
6 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	7 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	8 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	9 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	10 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	11 園庭開放 さくらサロン 8:30～13:20
13 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	14 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	15 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	16 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	17 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	18 園庭開放 さくらサロン 8:30～13:20
20 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	21 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	22 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	23 休館	24 休館	25 園庭開放 さくらサロン 8:30～13:20
27 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	28 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	29 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	30 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	31 園庭開放 さくらサロン 9:00～16:50	1

※園庭開放の日でも職員はいます。遊びや相談など、気軽に声を掛けてください。
 ※外での活動で雨天の場合は、サロンでの自由遊びになります。

串間市子育て支援センター「さくらサロン」ってどんなところ?

「さくらサロン」は、串間市に2箇所ある子育て支援拠点のうちの1つです。子育て家庭の孤立が進む中、お母さんお父さんたちが気兼ねなく集い、お子さんを自由に遊ばせながらつながりあうことのできる場所。そして子どもたちの健やかな成長を支援するための施設です。

具体的には…

- 親子で楽しく遊べるプレイルームの開放
 - 職員による育児の悩み相談
 - 地域の子育て情報の提供
 - 親子向け講座の実施
 - 身近な地域や施設への出前保育
- …など行っております。

開館時間 ※日祝は休館
 【月～金】9:00～17:00(16:50 片付け)
 【土】8:30～13:30(13:20 片付け)

所在地
 〒888-0005
 宮崎県串間市大字北方7358番地2(南さくらこども園内)

お問い合わせ
 メールアドレス: saron@love.made.ne.jp
 TEL: 0987-72-5623



HAPPY BIRTHDAY

4月・5月・6月・7月生まれの
おともだちを紹介しま〜す

1歳のおともだち

2歳のおともだち



こだま はくくん



ありむら そうすけくん



ふくしま あゆむくん



せい はるとくん

おたんじょうび
おめでとうございます!
たくさん食べて、遊んで
大きくなって下さいね。

＊ 記念日など、いつでも撮影しますので、＊
＊ 気軽に職員に声をかけてくださいね。

子育て家族の 健康まめ知識

チャイルドシートについて

チャイルドシートとは

子供を自動車に乗車させる際、
安全を確保するため身体を固定する装置

平成12年4月1日から自動車に乗車する際、幼児を交通事故の被害から守るため義務付けられています。

現在は… チャイルドシートの使用率が1〜4才の子供は減少している状況です。

人形を使用しての実験では、時速 40kmで急ブレーキをかけると体重 15kg のお子さんの場合、前席背もたれに頭部をぶつけ、座席の下に転げ落ちてしまいます。

小さなお子さんの身を交通事故から守るため、年齢に合ったチャイルドシートを使用して交通安全に努めましょう。チャイルドシートは、6歳未満、つまり5歳までは、必ず着用しなくてはなりません。これは道路交通法の第七十一条の三の三項によって決められています。

大人用のシートベルトを使用する場合は、子供の体が大人用シートベルトを正しく着用できる体になっているかをしっかりと確認しましょう。お子様の安全を正しく確保することができない場合は、チャイルドシート・ジュニアシートを使用して下さい。

5歳までは
着用しましょう



時には一人で、夏の星空を眺めながら、先人たち一人ひとりが残してくれた数々の歴史を紐解いてみてはいかがでしょうか。この平和な時代をこれから生きる子ども達に託していくために、自分は今をどう生きていかなければならないか見いだせるかもしれません。

尚子

水田はいつの間にか青田となりました。青々とした田園風景に時折なびくそよ風、私たちはなんと平和な時代を生きているのでしょうか。何もなくても自然の穏やかな営みこそが子ども達の成長をやさしく育んでいることに感謝します。

先日、NHKテレビで清水真砂子氏(児童文学者・翻訳家)の話を聞くことができました。彼女は一九四一年、朝鮮半島北部に生まれました。太平洋戦争が終わり、家族とともに命からがら父親の実家があった静岡県に帰ってきました。

幼い彼女がロシア兵に見つからないように、北朝鮮との境界三十八度線の流れるイムジン河を裸足で夜間黙々と渡っていた時、後ろから両脇を抱えられて救われた経験があります。「あの体験は、宝物のような体験でした。その人が誰だったかわからないのですが、今でもあの両脇を抱えられた感触を私は忘れることができません。」

しかし、異国の地で生まれ育った事で学童時代は、いじめられたこともあり生きていいのだからと悩んだ経験もあります。駄菓子屋さんでほしくてたまらない子ども用のプローチを万引きしたいと考えたこともありました。そんな時に「レ・ミゼラブル」を読んで世の中には貧しくても悲しくても、生きていくことに喜びを感じている人々がいること、どんな人にもきつと神の救いはあることを感じました。そして自分一人だけが苦しんだり悩んだりしているのではないことや日々正直にしっかりと生活していれば「許される」という「喜び」があることを知りました。周囲になじめず深い悩みを抱えた思春期。「自分の影に目を向け、そんな自分を抱きしめること」の大切さに気付かせてくれたのは、文学の言葉でした。多くの文学書との出会いが彼女の「生きるための道しるべ」になりました。

清水氏が大学で教鞭をとっていたころ、学生達と雑談をしているとある学生が「戦争を体験した人がうらやましい。」「何故なら戦争を体験した人達が戦争を語る時、生き生きとして見える。自分たちにはそういうものが無い。」のだと言いました。「学生の言葉はショックでしたが、健康な心身を持ったまま平和を生きて延びること」が実はとても難しいことなのかもしれない。今や私たちに与ってイベントのない暮らしは退屈でしかない。「物消費」と合わせてイベントなどの「事消費」に走り回っています。実はイベントの最たるものは戦争かもしれないのに。この会話がきっかけで、彼女は現代の若者達の「生きにくさ」を知ったのでした。

すくすくColumn



みんなの子育て

VOICE

串間市大東地区在住 黒原拓也さん

大東の広野地区で、長男(5歳)と長女(2歳)の子育てをしています。仕事は夫婦共に介護の仕事をしてます。職場の理解もあって子供が産まれてからは、勤務の時間や休みの取り方も融通を効かせてもらい、保育園の行事などにも参加させていたっています。保育園の行事に行く、同じクラスの保護者の方や先生方と話をする機会も増え、普段の送迎の時にもちょっとした世間話もできるようなになって、子育ての情報交換も少しできるようになってきました。

子供と魚釣りに行くことで魚が苦手な長男も「これ、僕が釣ったんだよ」と言って食べてくれるようになってきました。長男の魚嫌いを克服できたので、シメシメと次は長女のビーマン嫌いを克服するために家庭菜園にトライ。現在トマトとピーマン、パセリとイチゴを育てて、収穫して食べています。結果ピーマンを「パブリカだよ」って言うって食べる長女……。近所に同世代の子供が少い為か、子供達は近所のおばあちゃん達と仲良くなって、休みの日や夕方におばあちゃんの姿が見えると家から大声で呼びながら飛び出して一緒にお散歩に行ったりしています。様々な人の協力やこの環境に感謝して、これからも子供達と一緒に楽しく成長していきたいと思っています。



拓也さんと幸枝さんの長男聖大(5歳)と、長女彩愛(2歳)ちゃん